

病院開設許可申請書

平成 年 月 日

札幌市保健所長 様

住所（法人であるときは、主たる事務所の所在地）

開設者

氏名（法人であるときは、名称及び代表者氏名）

印

次のとおり病院を開設したいので、許可されるよう申請します。

記

- 1 名 称
- 2 開設の場所
- 3 診療科目
- 4 開設者が医師又は歯科医師以外の者であるとき
 - ア 開設の目的
 - イ 維持の方法

- 5 開設者が医師又は歯科医師であるとき

ア 現に病院又は診療所を開設し、若しくは管理し、又は病院若しくは診療所に勤務しているとき

病院（診療所）の名称	所在地の市町村名	開設、管理、勤務の別

イ この施設以外で同時に病院又は診療所を開設しようとするとき

病院（診療所）の名称	開設の場所

手数料	受付印
円	
領収印	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師その他の従業員の定員 (人)

医師	歯科 医師	薬剤 師	看護 師	准 看護 師	助 産 師	診療 放射 技 師	診療 工 ク ス 師	臨 床 検 査 技 師	衛生 検 査 技 師	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	栄 養 士	調 理 師	歯 科 衛 生 士	歯 科 技 工 士							事務 職員	合 計

1日平均患者等の数

入院		外来			入院している 新生児数	調 剤 数
歯 科	その他	眼 科、 耳鼻咽喉科	歯 科	その他		

7 敷地の面積及び平面図

面積 平方メートル
平面図。別添 NO _____ のとおり

8 敷地周囲の見取り図

見取り図。別添 NO _____ のとおり

用途地域の別	防火地域の別
住宅地域・商業地域・準工業地域・工業地域	防火地域・準防火地域

9 建物の構造概要及び平面図

(1) 建物の構造概要

ア 総 体

構 造	階 数	建築面積	延べ建築面積
		m ²	m ²
		m ²	m ²
		m ²	m ²
		m ²	m ²

イ 各室の仕様

棟(階)別	室の名称	室の面積	構造の概要				防火危害防止に係る構造設備の概要
			床	腰	壁	天井	
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					
		m ²					

ウ 廊下の幅

建物(階)の別	片廊下	中廊下	建物(階)の別	片廊下	中廊下
	m	m		m	m
	m	m		m	m
	m	m		m	m
	m	m		m	m
	m	m		m	m
	m	m		m	m

エ 階段

階段の名称	階段の幅	踊場の幅	踏面の幅	けあげの高さ	手すりの有無	備考
	m	m	m	m		
	m	m	m	m		
	m	m	m	m		
	m	m	m	m		
	m	m	m	m		
	m	m	m	m		

オ 避難階段

避難階段の 構造の概要	避難階段の 箇所数	くぐり戸の 大きさ (高さ×幅 ×床面から の高さ)	屋内の直通階段を避難階段の数に算入しようとするとき					
			階 段 室			防 火 戸		
			構造の 概 要	採光設備及び 予備電源の 有 無	開口部		種別	自動閉 鎖構造の 有 無
構造	有効 幅							
		m						
		m						
		m						
		m						
		m						

(2) 平面図。別添 NO _____ のとおり

10 病院については、法第21条第1項に掲げる施設

(1) 各科専門の診察室

室 名	室 面 積	暖房設備の有無
科診察室	m ²	
科診察室	m ²	
科診察室	m ²	
科診察室	m ²	

(2) 処置室

室 名	室 面 積	暖房設備の有無
科処置室	m ²	
科処置室	m ²	
科処置室	m ²	
科処置室	m ²	

(3) 手術室

室 名	室面積	準 備 室		更 衣 室 の 有 無	設 備 の 概 要						
		有無	面 積		暖房 の 方 法	照明 の 種 類	滅菌手 洗いの 有 無	消毒設備の有無		防 蠅 設 備 の 有 無	防 曝 設 備 の 有 無
	m ²		m ²					手術用 被服等	機材 器具		
	m ²		m ²								
	m ²		m ²								
	m ²		m ²								

(4) 臨床検査施設及びその他の検査施設

ア 臨床検査施設

施設名	室面積	防蠅設備の有無	機材器具の名称及び数	防火設備の有無
	m ²			
	m ²			
	m ²			
	m ²			

イ その他の検査施設

施設名	室面積	機材器具の名称及び数
	m ²	
	m ²	
	m ²	

(5) エックス線装置

用途の別	型式	台数	定格出力	操作室の有無	暖房設備の有無
		台			
		台			
		台			
		台			
		台			

(6) 調剤所

所名	室面積	採光面積	換気設備の有無	冷暗所の有無	設備する機械器具の名称及び数
	m ²	m ²			
	m ²	m ²			
	m ²	m ²			
	m ²	m ²			
	m ²	m ²			

(7) 消毒施設

室面積及び寸法 (縦×横×高さ)	前室の面積	消毒の方法	構造設備の概要
m ² ()	m ²		

(8) 給食施設

ちゅう房					配ぜん室					食品 庫 の 有無	事務 室 の 有無	休憩 室 の 有無	専用 便所 の 有無
室 面 積	防蠅設備 の有無		消毒設備 の有無		室 面 積	消毒 設備 の 有無	洗浄 設備 の 有無	食品格 納設備 の 有無	防蠅 設備 の 有無				
	出入 り口	窓	食 器	野 菜									
m ²					m ²								
m ²					m ²								
m ²					m ²								
m ²					m ²								
m ²					m ²								

(9) 給水施設

区分	上水道	井戸	その他
主たる給水室名			

(10) 暖房施設

棟(階)別	暖房の方法	棟(階)別	暖房の方法

(11) 洗濯施設

室面積				リネン庫	
洗濯室	乾燥室	仕上げ室	未洗濯室	清潔庫	不潔庫
m ²	m ²	m ²	m ²	室 (m ²)	室 (m ²)

(12) 汚物処理施設

焼却炉の有無	浄化槽の有無	汚物だめ		汚物処理室	
		有 無	防蠅設備の有無	有 無	防蠅設備の有無

1 1 防火、消火の設備

設備してある場所(室)の名称	機械器具の名称及びその数

1 2 産科を有するとき

(1) 分娩室及び新生児の入浴施設

分 べ ん 室					新生児の入浴施設		
室面積	準備室の有無	暖房設備の有無	防蠅設備の有無	その他設備の概要	入浴施設の有無	暖房設備の有無	その他設備の概要
m ²							

(2) 未熟児室

室の名称	病床数	面積	採光面積	直接外気に面する開放面積
		m ²	m ²	m ²

1.3 歯科技工室を有するとき

防じん設備の概要	防火設備の有無	換気設備の有無

1.4 病室を有するとき

(1) 種別ごとの病床数

(床)

精神	感染症	結核	一般	療養	計

(2) 病室ごとの病床数

棟(階)別	病床の種別	病室の名称	病床数	面積	採光面積	直接外気に面する開放面積	暖房設備の有無	その他設備の有無	備考
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			
			床	m ²	m ²	m ²			

1 5 療養病床を有する場合

(1) 機能訓練室

室 名	床面積 (m ²)	主要構造	設 備 概 要

(2) 食 堂

室 名	床面積 (m ²)	主要構造	設 備 概 要

(3) 浴 室

室 名	床面積 (m ²)	主要構造	設 備 概 要

(4) 談 話 室

室 名	専用・共用の別	床面積 (m ²)	主 要 構 造
	専用		
	共用	室との共用	

1 6 精神、結核、感染症の病床を有するとき

(1) 他の部分及び外部に対して危害防止又は感染症予防のための遮断、その他必要な方法の概要

(2) 精神病室の保護のための必要な方法の概要

(3) 結核又は感染症病室に必要な消毒設備

1 7 開設者が法人であるとき

定款 (寄付行為、条例) の写し。別添 NO _____ のとおり

1 8 開設の予定年月日

1 9 予定している管理者

現 住 所	氏 名	生年月日	医籍 (歯科医籍) 登録	
			番 号	年 月 日

備考

- 1 添付する平面図は、縮尺 200 分の 1 以上のものとし、構造概要、出入り口等を明示すること。
- 2 開設者が医師、歯科医師であるときは、医師（歯科医師）免許証の写しを添付すること。
- 3 省令第 1 条第 2 項の規定により開設許可申請書に添付する書類（2 部）には、次の事項を記載すること。
 - （1）汚水を排出しようとする河川の種類及び名称（河川（1 級河川、2 級河川、その他の河川の別）湖沼、港湾、沿岸海域等の別及びその名称を記入すること。）
 - （2）汚水を排出しようとする場所（排出口の所在地及び河川に排出しようとする場所は、右岸、左岸（下流に向かって左右をいう。）の別を記入すること。）
 - （3）汚水の排出の方法及び期間（ポンプ排出又は自然排出の別及び排出口の構造の概要（暗きょ、コンクリート溝等）並びに排出の開始及び終了の時期を記入すること。）
 - （4）排出しようとする汚水の量（日量及び時間量を記入すること。）
 - （5）排出しようとする汚水の水質（生物化学的酸素要求量、水素イオン濃度、浮遊物質量、大腸菌群その他の項目ごとに平均値及び最大値を記入すること。ただし、その他の項目については、汚水の種類に応じ必要な範囲で記入すれば足りること。）
 - （6）排出しようとする汚水の処理の方法（活性汚泥法、標準散水ろ床法、沈殿法等の処理方法及びこれらの方法に応じて設置する沈殿池、エアレータンク、中和槽、油槽分離槽、浄化槽等の処理施設の名称（型式）数量、規格、処理能力等を記入すること。）
 - （7）位置図（5 万分の 1）並びに病院及びその周辺の平面図（3,000 分の 1）（汚水処理系統、汚水処理施設の位置、廃水管きょ溝、排水口、排水経路等の概要を発生箇所から排水口まで赤色で明示すること。）